

受 付 番 号	2026-12		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111457 号		
研究課題名	顎変形症患者における鼻中隔彎曲症の重症度および上顎矯正手術後の変化に関する後方視的検討		
研究責任者	小川 真	申 請 者	小川 真
研究終了日	2027 年 3 月 31 日		
所 属	大阪歯科大学附属病院 耳鼻咽喉科	所 属	大阪歯科大学附属病院 耳鼻咽喉科
職 名	専任教授	職 名	専任教授
申請の概要			

顎変形症に対する上顎矯正術後に鼻中隔彎曲が増悪する可能性が指摘されているが、その影響については一定した見解が得られていない。本研究では、単施設後方視的観察研究として、CT 検査画像における鼻中隔彎曲の形態および偏位角（nasal septal deviation angle）解析に加えて、鼻腔内視鏡所見を併用することにより、①顎変形症患者における鼻中隔彎曲の頻度・重症度の特徴、②鼻中隔彎曲の程度の術前後の変化の有無、および、③顎変形症の疾患の種類、年齢、性別などの臨床的因子と鼻中隔彎曲の頻度および重症度との関連性、以上を検討することを目的とする。CT 検査画像より計測したパラメータのみでなく、鼻腔内視鏡下の実際の内視鏡通過の困難性を含めて解析することで、顎顔面形態と鼻中隔彎曲の関係のより詳細な解明と、この後の臨床評価の一層の向上が期待される。